



TNS型温度スイッチは、もっとも汎用性のある温度スイッチです。用途に応じて使い分けできるよう、設定温度、入切温度差共可変できます。

カタログ番号

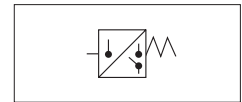
TNS-C1 034 C W

1 2 3 4 5

- 1 型式
標準型温度スイッチ
- 2 接点形式
単極双投型
- 3 温度調整範囲の最高温度
- 4 封入方式記号
- 5 特殊用途
防滴型



JIS油圧図記号



構造

- (1) 接点機構はすべてダブルスナップアクションで普通のマイクロスイッチに見られるようなデッドポイントはなく、従って正接点、逆接点共に微振動によるチャタリング現象は皆無です。
- (2) コンタクトブロックは標準として単極双投型になっておりますので、結線を変えることによって低温遮断型

にも高温遮断型にも一機種で間に合いますので非常に便利で経済的です。

- (3) 警報回路を構成する場合はコンタクトブロックの逆接点を利用するだけで済みますので、特別な機構を必要としません。従って廉価で且つ故障の起こることがありません。

仕様

カタログ番号					調整範囲(°C)		入切温度差(°C)		封入方式	使用温度条件	感温筒サイズ	感温筒最高温度(°C)	感温筒取付方向	質量(kg)
型式	接点形式	温度	特殊用途	キャピラリー長さ	最低	最高	最小	最大						
TNS-C	C1	00			-25	0	下限4.5 上限3	15	G	$T_s > T_B$	φ6×80	70	制限無し	0.34
		14			-15	15								
		34		記号無し	0	35								
		010C		L2: 1m	-45	10	C	$T_s \leq T_B$	φ12.7 ×100	45	0.37			
		034C	W	L3: 2m	-20	35								
		070C		L5: 3m	15	70								
		070		L5: 5m	45	75								
		100		L7: 7m	65	105								
		120		L0: 10m	95	125								
		150			115	150				H		$T_s < T_B$		140

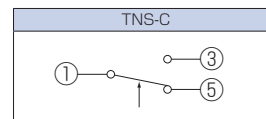
本体周囲温度…-20~70°C、本体取付姿勢…自由、感温筒材質…銅合金、TS…スイッチ本体の温度、TB…感温筒の温度、キャピラリーチューブ長さ…標準:1m、標準準:2m、3m、5m、特殊:7m、10m(但しCチャージ型は不可)

電気定格

定格電流(A)	定格電圧(V)	力率(cosφ)	AC			DC		
			125	250	450	24	125	
無誘導負荷電流			1.0	10	5	2	5	
誘導負荷電流			常時電流	0.75	8.5	4.5	1	2
			臨時電流	0.45	40	20	10	10

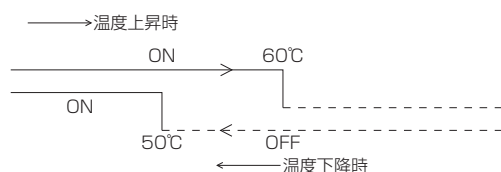
注) 50mA以下の微弱電流でご使用の場合はご一報ください。

接点形式



矢印↑は温度上昇時作動方向を示します。

温度スイッチの調整方法



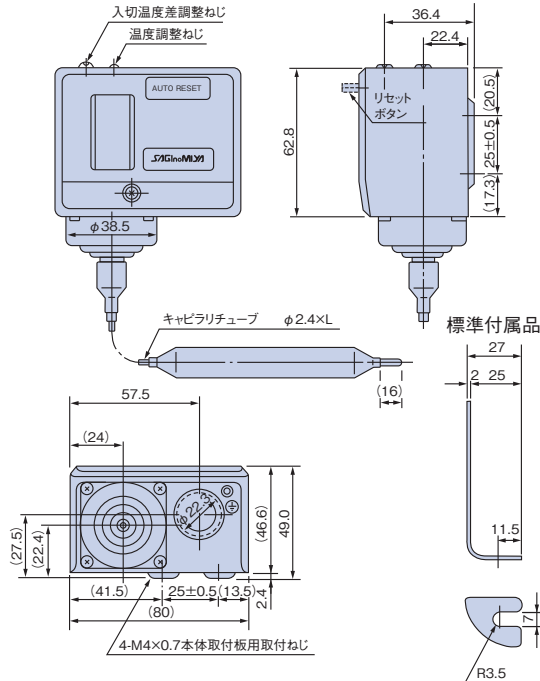
(TNS-C1070を使用の場合)

60°C	OFF
50°C	ON
———	ON
- - - -	OFF

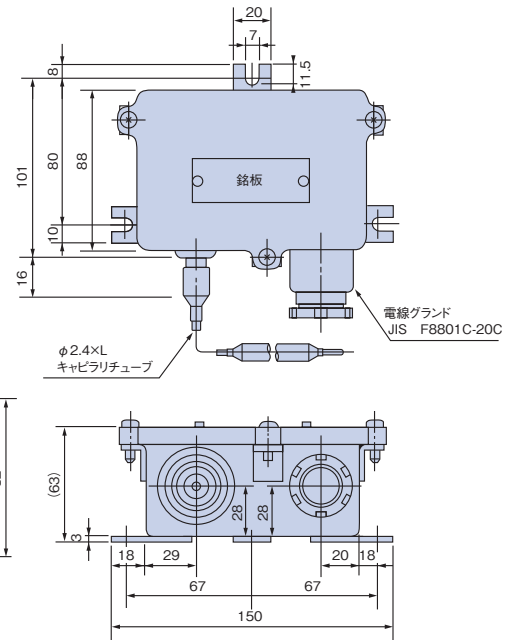
- 最初に60°C (設定値の高い方、この場合60>50)を温度調整ねじで調整してください。温度調整ねじは時計方向で低くなり、反時計方向で高くなります。
- 次に50°Cの設定は入切温度差(ON、OFFの幅:60-50=10)を求めて入切差調整ねじにて調整してください。入切差調整ねじは時計方向で大きくなり、反時計方向で小さくなります。
- 上記の場合目盛板から見ると温度調整ねじは60°C入切差調整ねじは10°Cに合わせる事により60°C OFF、50°C ONの設定が出来ます。
- ON、OFFは接点形式を参照の上端子の選択をしてください。また、入切差温度差固定および手動復帰型もありますのでご注意ください。

寸法図

標準型



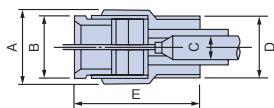
防滴型



オプション部品

■ インサートホルダ (許容圧力: 静圧1MPa)

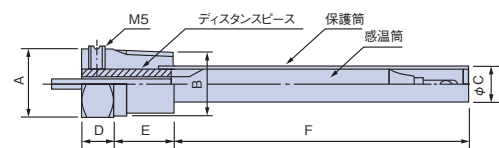
許容温度: 最高温度120℃以下に使用してください。120℃を越える場合にはパッキン材質が異なります。



部品コード	A	B	C	D	E
TNS-AB01			φ 6	R1/2	
TNS-AB02	平径24六角	平径22六角	φ 9.5	(MPT)	約43
TNS-AB04			φ 12.7		
TNS-AB05			φ 9.5	R3/4	
TNS-AB07	平径32六角	平径30六角	φ 12.7	(MPT)	約54
TNS-AB09			φ 6		

■ 保護筒 (許容圧力: 静圧3MPa)

銅合金ならびにステンレスの二種が用意されています。使用流体に適したものをお選びください。



部品コード	A	B	C	D	E	F	材質
AC-01	平径24六角	R1/2	φ 8		20	95	
AC-05		(MPT)	φ 15	10		115	銅
AC-09	平径30六角	R3/4	φ 15		22	115	
AC-35		(MPT)	φ 8			95	
AC-12	平径24六角	R1/2	φ 15		20	115	
AC-14	平径30六角	R3/4	φ 15	10		115	SUS
		(MPT)			22		

注) 1. インサートホルダおよび保護筒 (別売) はタンクおよび配管等に挿入する場合にご使用ください。
注) 2. インサートホルダ, 保護筒の締付トルクは12N・m以下でご使用ください。

ご使用上の注意事項

- 感温筒の取付け方向は出来るだけ水平に取付けてください。(特にH封入型は水平に取付けてください。)
- 感温筒は3/4以上被調整物の中に挿入してください。
- 温度上昇速度は1℃/3分標準となっております。
- キャピラリチューブが長い場合は感温筒とスイッチ本体との取付位置の高低差をあまりとらないようにしてください。
- 振動については標準で常時1G以下です。なるべく振動のないところへ取付けてください。
- キャピラリチューブを曲げる場合には、キャップより40mm以上話して曲げてください。曲げる場合は最小10R以上としてください。
- キャピラリチューブ取付時、余分な場合、振動の有る場合は、固定してください。